



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月6日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大橋 宏成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 海老沼 博行

TEL 044-813-8026

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,647	45.1	339	—	396	—	322	—
2026年3月期第1四半期	1,824	8.1	55	—	2	94.4	12	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 576百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 217百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	391.45	—
2026年3月期第1四半期	14.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	16,647	14,124	84.8	17,167.64
2026年3月期	15,791	13,614	86.2	16,546.96

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 14,122百万円 2026年3月期 13,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	40.00	—	80.00	120.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	9,600	14.6	340	21.1	440	7.9	308	5.3	374.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2026年8月6日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	842,520 株	2026年3月期	842,520 株
2027年3月期1Q	19,876 株	2026年3月期	19,856 株
2027年3月期1Q	822,654 株	2026年3月期1Q	822,751 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、添付資料の2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界経済は、インフレ圧力の緩和はなお限定的である一方、地政学リスクの長期化や通商政策の動向、金融引き締めの影響等により、先行き不透明な状況が続いております。加えて、中東情勢等を背景とした原油価格の上昇や、それに伴う原材料・部品価格の上昇など、サプライチェーン全体への影響には引き続き注視が必要です。日本経済におきましては、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、緩やかな回復基調が継続しているものの、物価上昇による実質需要への影響や為替変動を含む外部環境の変化には留意が必要な状況にあります。また、当社グループが属する電子部品市場では、業界全体で続いていた在庫調整が概ね一巡し、実需の回復が進展する中、AI関連投資の拡大を背景にデータセンター関連を中心とした業界全体の需要環境が底上げされており、当社の受注は前年同期を大きく上回る水準で推移しております。一方で、原材料・部品価格の上昇や価格改定を見越した先行発注の動きも一部に見られることから、需要動向については引き続き慎重に見極めております。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として制定したグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」の実現に向け、2025年度から3カ年の中期経営計画Ⅱを推進しております。中期経営計画Ⅱでは、中期経営計画Ⅰで重点テーマとしてきた「信頼」と「納期」に関する取り組みを継続しつつ、次のステップとして「顧客価値の向上」を目指し、放送音響機器や特殊車両等の「特定市場の深耕」とグループ全体で納期を創出する「生販一体の供給基盤構築」を重点テーマとし、2026年度においてもグループの総力を結集してこれらに関する戦略を積極的に展開しております。

こうした取り組みの成果もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,647百万円（前年同期比45.1%増）、営業利益は339百万円（前年同期は55百万円の営業損失）、経常利益は396百万円（前年同期は2百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は322百万円（前年同期は12百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは、1米ドル159.43円（前年同期比10.3%の円安）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① 日本

日本経済では、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大、AI関連投資および設備投資の持ち直しなどを背景に、内需を中心として底堅い動きが見られます。一方、原材料・エネルギー価格の高止まり、人件費・物流費の上昇に加え、米国の通商政策や中東情勢を含む国際情勢の不安定化の影響もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。こうした環境のもと、「顧客価値の向上」に向け、重点テーマの一つである「特定市場の深耕」では、同市場のさらなる拡大を図るため、リーディングカンパニーとの関係強化に取り組むなど、積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は前年同期比16.4%増、グループ間の取引を含んだ売上高は1,966百万円（前年同期比41.3%増）となりました。

② 欧米

米国では、AI関連投資を中心に設備投資が底堅く推移しております。一方、関税政策を含む通商政策の不透明感や物価上昇の影響などから、個人消費や一部の企業活動には慎重な動きも見られ、先行きは依然として不透明な状況にあります。欧州においても景気回復は緩やかで、ドイツを中心に成長の鈍さが残っております。加えて、地政学リスクやエネルギー価格の変動などの影響もあり、欧米経済全体としては、引き続き不透明な状況が続いております。こうした環境のもと、カタログディストリビューターとの共同マーケティングや、ロボット市場を含む新たな「特定市場」の開拓など、積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は為替の影響も含め1,284百万円（前年同期比63.2%増）となりました。

③ アジア

アジアでは、中国において不動産市場の調整長期化や雇用環境の低迷を背景に内需の回復が鈍く、成長ペースは減速しております。一方、AI・半導体関連需要に支えられた輸出や一部の製造業には、底堅い動きも見られます。また、域内の他の国・地域では、AI・半導体関連投資や輸出の持ち直しを背景に堅調な動きが見られる一方、米国の通商・関税政策の動向、地政学リスク、エネルギー価格の変動などを受け、アジア経済全体としては、依然として先行き不透明な状況が続いております。こうした環境のもと、世界的に需要が急拡大しているAIデータセンター関連の大口案件を獲得するなど、リーディングカンパニーとの関係強化および新たなパイプラインの構築を見据えた活動に注力し、積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間のグループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響も含め1,694百万円（前年同期比72.7%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は16,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ856百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が293百万円、電子記録債権が236百万円、原材料及び貯蔵品が249百万円、投資その他の資産が169百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が104百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ345百万円増加いたしました。これは主に買掛金が88百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は14,124百万円となり、前連結会計年度末に比べ510百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が154百万円、利益剰余金が256百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、2026年5月15日の「2026年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。なお、業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル150円を前提としております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,718,253	4,012,166
受取手形及び売掛金	1,346,266	1,241,841
電子記録債権	210,253	447,140
商品及び製品	1,149,990	1,066,653
仕掛品	75,839	71,158
原材料及び貯蔵品	2,059,368	2,308,919
その他	475,569	527,443
貸倒引当金	△5,733	△5,849
流動資産合計	9,029,807	9,669,473
固定資産		
有形固定資産	3,540,255	3,555,055
無形固定資産	814,336	846,206
投資その他の資産	2,406,798	2,576,607
固定資産合計	6,761,390	6,977,869
資産合計	15,791,197	16,647,342
負債の部		
流動負債		
買掛金	550,441	638,660
未払法人税等	34,031	96,135
引当金	125,116	187,403
その他	622,932	721,546
流動負債合計	1,332,521	1,643,746
固定負債		
退職給付に係る負債	56,130	69,615
役員退職慰労引当金	239,500	242,500
その他	548,784	566,828
固定負債合計	844,415	878,943
負債合計	2,176,937	2,522,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,528,284	9,784,502
自己株式	△163,341	△163,439
株主資本合計	11,150,047	11,406,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	927,477	1,026,669
為替換算調整勘定	1,535,058	1,690,016
その他の包括利益累計額合計	2,462,536	2,716,685
非支配株主持分	1,675	1,798
純資産合計	13,614,260	14,124,652
負債純資産合計	15,791,197	16,647,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,824,890	2,647,503
売上原価	1,107,312	1,410,027
売上総利益	717,577	1,237,475
販売費及び一般管理費	772,783	897,923
営業利益又は営業損失(△)	△55,205	339,552
営業外収益		
受取配当金	24,517	29,247
受取賃貸料	7,923	7,923
為替差益	11,613	292
持分法による投資利益	12,514	19,191
その他	5,688	5,780
営業外収益合計	62,257	62,435
営業外費用		
支払利息	1,475	2,042
賃貸収入原価	3,373	3,260
その他	—	140
営業外費用合計	4,849	5,442
経常利益	2,202	396,544
特別損失		
固定資産除却損	207	0
特別損失合計	207	0
税金等調整前四半期純利益	1,995	396,544
法人税、住民税及び事業税	24,625	101,636
法人税等調整額	△10,276	△27,246
法人税等合計	14,349	74,390
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,354	322,154
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	123
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,335	322,030

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,354	322,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,842	99,192
為替換算調整勘定	△168,650	154,957
その他の包括利益合計	△205,493	254,149
四半期包括利益	△217,847	576,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△217,829	576,180
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	123

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	800,147	787,162	237,580	1,824,890
外部顧客への売上高	800,147	787,162	237,580	1,824,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	592,093	—	743,313	1,335,406
計	1,392,240	787,162	980,894	3,160,297
セグメント利益又は損失（△）	△122,176	47,295	48,423	△26,457

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△26,457
セグメント間取引消去	△28,748
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△55,205

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	931,254	1,284,837	431,411	2,647,503
外部顧客への売上高	931,254	1,284,837	431,411	2,647,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,035,572	—	1,262,614	2,298,187
計	1,966,827	1,284,837	1,694,026	4,945,691
セグメント利益	86,407	120,409	248,264	455,081

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	455,081
セグメント間取引消去	△115,529
四半期連結損益計算書の営業利益	339,552

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	99,708千円	85,135千円